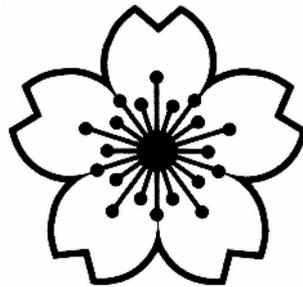


# 体験授業

2019年7月28日(日)

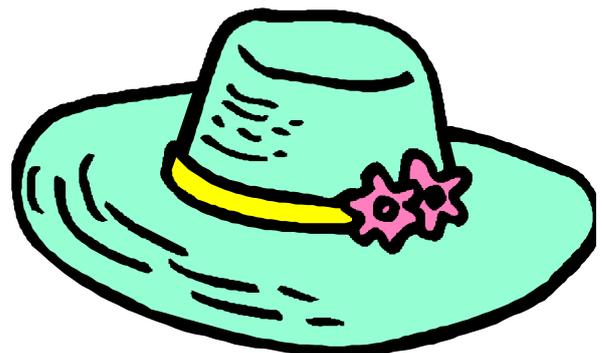


**大学の講義を体験できるチャンス！  
ぜひ聴いてみて下さい。**

跡見学園女子大学

## 文学部

<p>人文学科</p> <p>12:20~12:50 2号館4階M2402教室</p>	<p>ジャンヌ=ダルクは聖女だったのか ——フランスの歴史家ジュール・ミシュレとナショナリズム—— 教授 森 まり子</p> <p>百年戦争中に「フランスを救え」という神の声を聞いたとされるジャンヌ=ダルク。彼女はその声に従ってイギリスを撃退しフランスを救いましたが、捕えられ異端として火刑に処せられます。彼女はカトリックが伝統的に強いフランスで「救国の聖女」として崇敬されてきました。しかし実は、この様なジャンヌ像は19世紀フランスの歴史家ミシュレの著作によって「創られた」面が大きいのです。ジャンヌの実像には不明の部分が多いのに、ミシュレはなぜ救国の聖女として描いたのか。「ナショナリズム」をヒントに、19世紀という時代に迫ります。</p>
<p>現代文化表現学科</p> <p>14:00~14:30 2号館4階M2402教室</p>	<p>おしゃれスナップの始まり 教授 富川 淳子</p> <p>ファッション誌だけでなく、Webサイト上でも人気の高い「おしゃれスナップ」。この企画がファッション誌の特集として始まったのは雑誌が流行情報伝達の主役メディアであった昭和の時代、1980年のことでした。なぜ、それまでおしゃれスナップはファッション誌で特集されなかったのでしょうか？なぜ、1980年に始まったおしゃれスナップ特集が今も人気なのでしょう。この疑問に対する答えは「雑誌は時代の鏡」ということにあるのです。</p>
<p>コミュニケーション文化学科</p> <p>10:45~11:15 2号館4階M2402教室</p>	<p>自分の英語学習を「科学的に」見直してみよう！ 講師 穂苅 友洋</p> <p>英語は国際共通語であるという認識がいつそう高まる中、日本でも多くの人が、日々、英語学習に取り組んでいます。しかし、私たちが英語を学習する上で当たり前だと思っていることの多くは、実は、科学的な根拠を欠く「嘘」です。この体験授業では、多くの人が英語学習について当たり前だと受け入れていることを科学的に検証し、その上で、みなさん自身のこれまでの英語学習やその姿勢に足りない点はなかったかどうかを一緒に考えていきます。きっと、自分の英語学習を見直すよいきっかけになると思います。</p>



## マネジメント学部

<b>マネジメント学科</b>  10:45~11:15 2号館6階M2601教室	カスタマージャーニーで学ぶマーケティング <span style="float: right;">教授 丸岡 吉人</span>
	「カスタマージャーニー」を直訳すると「顧客の旅」です。顧客(消費者)は、製品やサービス、ブランドに関心を持つと、情報を集め比較検討します。そして、製品やサービスを購入して使用し、その感想をSNSに投稿します。いつかは製品を廃棄したり、サービスの利用を取りやめたりする時期が来ます。カスタマージャーニーはこの一連の過程を旅にたとえたものです。皆さんは今、大学選びという旅(ジャーニー)の途中にいます。体験授業では、この旅の様子を解き明かすことから、大学で学ぶマーケティングの一端に触れてみましょう。

<b>生活環境マネジメント学科</b>  12:20~12:50 2号館6階M2601教室	ユニバーサルマナーを学ぼう！ <span style="float: right;">講師 赤松 瑞枝</span>
	皆さんはユニバーサルマナーを知っていますか。高齢の方や障害のある方、妊婦さん、ベビーカーを押している人、他国出身など、様々な方を街で見かけると思います。このような方が困っているのを見た時、どうしていますか。社会の中で皆が気持ちよく生活していくためにはどうしたら良いのでしょうか。この講義では、「自分とは違う」誰かを思いやることの大切さと、適切な理解のもと行動する重要性を学びます。多様な方々に向き合うためのマインドとアクション、「こころづかい」の一つであるユニバーサルマナーの基礎を身に付けることができます。

## 観光コミュニティ学部

<b>観光デザイン学科</b>  13:10~13:40 2号館5階M2501教室	古(いにしえ)の大旅行「グランド・ツアー」でイタリアで学ぶこと <span style="float: right;">准教授 河村 英和</span>
	17-18世紀、皆さんと同じ年ぐらいの英国貴族たちは遊学も兼ね、何年もかけて、ヨーロッパ大陸への大旅行「グランド・ツアー」を行いました。先進国であるフランス、ドイツ、オランダなどを周遊するものの、美術の審美眼と古典教養を養うため、最後に訪れる最も重要な目的地は芸術の本場「イタリア」でした。彼らはそこで何を見て学んでいったのか？ それは豪華な観光旅行の先駆けでもあり、観光学などを志す者にとって、必ず知っておくべき歴史の一ページなのです。

<b>コミュニティデザイン学科</b>  11:25~11:55 2号館5階M2501教室	田舎暮らし、はじめました—農村コミュニティの魅力に迫る— <span style="float: right;">准教授 土居 洋平</span>
	今、都市から農村に移住する若者が増えています。地域おこし協力隊や田舎で働き隊など、政策的な取組みも利用しながら、元々は縁もゆかりもない田舎に移住する20~40代の若者たち。彼らは、どうして田舎に移住するのでしょうか。また、移住してどのような暮らしを営んでいるのでしょうか。そして、都市と農村での暮らしには、どのような違いがあるのでしょうか。今回の模擬授業では、Iターン現象を事例に取りながら、農村コミュニティの特徴と魅力について学びたいと思います。

## 心理学部

<b>臨床心理学科</b>  11:25~11:55 2号館4階M2405教室	「聴く」が持つ不思議な力 <span style="float: right;">教授 宮崎 圭子</span>
	「聴く」が持っている力とは？ 実は、我々臨床家(カウンセラー)にとってこの「聴く」は基本中の基本として、繰り返し説かれます。そして、我々臨床家達は日々の実践の中で「聴く」ことに集中します。では、「聴く」にはどのような臨床的な力があるのでしょうか？ 授業ではそれをレクチャーします。「聴く」に関して、非常に著名な作家が文学作品の一つにしています。それも味わってもらいます。臨床心理学ワールドを少し理解できるでしょう。お楽しみあれ！